

病害虫防除技術情報第16号

平成 24 年 11 月 15 日

三重県病害虫防除所

イチゴのハダニ類の発生が多くなっています

1 対象作物 : イチゴ

2 対象病害虫名 : ハダニ類

3 発生状況 : やや多

- 巡回調査において、10 月第 2 週では発生圃場率 58.3% (平成 23 年平均 35.9%)、寄生株率 12.8% (平成 23 年平均 5.5%)、発生程度 5.0 (平成 23 年平均 2.4)、11 月第 2 週では発生圃場率 72.7% (平成 23 年平均 47.9%) 寄生株率 17.6% (平成 23 年平均 8.7%)、発生程度 5.5 (平成 23 年平均 3.9) と、平成 23 年より多い状況が続いています (表)。
- 一般圃場での発生量は、平成 23 年よりやや多の状況です。
- 1 か月予報 (名古屋地方気象台・11 月 9 日発表) によると、向こう 1 か月は平成 23 年と同様に晴れの日が多いと予想されます。ハダニ類を増加させないように注意してください。

表. ハダニ類の発生状況

	10 月			11 月		
	発生圃場率	寄生株率	発生程度	発生圃場率	寄生株率	発生程度
本年	58.3%	12.8%	5.0	72.7%	17.6%	5.5
平成 23 年平均	35.9%	5.5% (平成 23 年平均)	2.4 (平成 23 年平均)	47.9%	8.7% (平成 23 年平均)	3.9 (平成 23 年平均)

※各圃場 50 株を調査。

※平成 23 年平均は過去 10 年間 (平成 14~23 年) の平均値。

4 防除上の注意事項

- 発生が多くなると防除が難しくなります。圃場全体をよく観察し、発生密度の低いうちに徹底して薬剤防除を行ってください。
- 葉液がかかりやすくなるよう、不要な下葉を除去し、葉裏にもかかるようにいねいに散布してください。
- 県内の一部の圃場において、薬剤抵抗性を獲得したハダニ類の発生事例が確認されています。同一薬剤や同一系統薬剤の連用は避けてください。また、薬剤抵抗性の発達しにくい気門封鎖剤や天敵製剤の利用を行ってください。
- 薬剤の散布にあたっては、収穫前日数とともに、天敵やミツバチに対する影響も十分考慮して薬剤の選択を行ってください。

農薬はラベルの表示を確認し、正しく使用してください。